

令和元（2019）年度

ふたばこども園自己評価



認定こども園
佐賀女子短期大学付属
ふたばこども園

2019年度 園の自己評価

佐賀女子短期大学付属 ふたばこども園

1. 学校教育目標

「遊びは学び」という乳幼児教育の理念を基本とし、子どもの主体的、創造的活動を促すとともに集団生活をとおして、思いやりの心や社会性を身につけ、生きる力の基礎を培う

2. 求める子どもの姿

や さ し く	か し こ く	た く ま し く
○ 感性豊かな子	○ 創造性豊かな子	○ 進んで運動する子
○ 協同して遊び互いに尊重する子	○ 知的好奇心に満ちた子	○ 食事を楽しむことができる子

3. 教育方針

【青文字】は新「認定こども園教育・保育要領」に示された、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿

- ①体験活動や探究活動を重視し、感性を高め知的発達をうながす。 【思考力の芽生え】
- ②目標を定めて挑戦し、充実感や満足感、そして達成感を味わうことができるようにする。 【自立心】
- ③あいさつや決まりを守ることなど集団生活に必要な生活習慣が身につくようにする。 【道徳性・規範意識の芽生え】
- ④身の回りのものや自然の事物と親しむ中で、生命の神秘や不思議さ、美しさを感じ、自然を大事にしようとする心を育てる。 【自然との関わり・生命尊重】
- ⑤遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、それらに興味や関心、感覚を持つようにする。 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
- ⑥豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝えあいを楽しむようにする。 【言葉による伝え合い】
- ⑦食事を楽しみ、健康や望ましい食生活習慣を身につけるようにする。 【健康な心と体】
- ⑧日常生活・集団生活の中で言葉を通して人間関係を深めるようにする。 【協同性】
- ⑨地域とのつながりを深め、豊かな体験ができるようにする。 【社会生活との関わり】
- ⑩心を動かす出来事などに触れさせ、感性を働かせ、表現する喜びを味わわせるようにする。 【豊かな感性と表現】

4. 評 定

評価の基準	関係者評価の判定基準
A とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が75%以上	A 園の自己評価を 納得できる
B とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が60%以上75%未満	B // だいたい納得できる
C とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%以上60%未満	C // あまり納得できない
D とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%未満	D // 納得できない

5. 保護者の園評価 . . . 資料1-1・資料1-2・資料3-1・資料3-2

6. 教職員の自己評価 . . . 資料2 . 資料3-2

5 保護者の園評価アンケート集計【0・1・2歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1－1

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①とてもよい そう思う	②よい・やや そう思う	③あまりよく ない・あまり そう思わない	④よくない そう思わない	⑤分から ない	よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育 の目標	先生方は、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や認定こども園教育・保育要領に示されている内容に基づき、子どもの主体性を大切にしながら、遊びを通した教育・保育の実践に取り組んでいます。こうした教育・保育についてどう思いますか？	35 85.4%	6 14.6%				41 100.0%		
2	意 欲	先生方は、子どもたち一人一人に寄り添い、共に遊びながら教育・保育を実践しています。また、進んで子どもたちにあいさつや声かけをしています。先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいると思いますか？	32 78.0%	9 22.0%				41 100.0%		
3	研究・研修	先生方は、一人一人が年に1回以上の研究保育を実践したり、月1回の園内での勉強会や園外での研修会などに参加したりして研修を行っています。こうした取り組みについてどう思いますか？	33 80.5%	7 17.1%			1 2.4%	40 97.6%		1 2.4%
4	組織力	先生方は、毎週学年の話し合いを行い、行事や保育の実践、情報等について共有をしています。また、チームワークや組織での対応を大切にしています。先生方は、子どもの保育や指導、支援などについて、職員同士で連携したり協力したりしていると思いますか？	29 70.7%	11 26.8%		1 2.4%		40 97.6%	1 2.4%	
5	安全・環境	先生方は、毎月園舎や遊具の安全点検を行ったり、はう、立つ、歩くなどの行動が自由にできるように保育室の環境整理を行ったりしています。先生方は子どもたちが安心して、安全に園で過ごせるように努力していると思いますか？	32 78.0%	8 19.5%	1 2.4%			40 97.6%	1 2.4%	
6	指導の工夫・改善	先生方は、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りのおもちゃを工夫したり、遊びの環境を整えたりしています。先生方は、子ども中心の教育・保育の実践に務めていると思いますか？	34 82.9%	6 14.6%			1 2.4%	40 97.6%		1 2.4%
7	道徳性の指導	先生方は、できるだけゆったりとした園生活が送れるように、一人一人の生活リズムを考えながら、給食や午睡などの取り方を工夫したり、遊びの環境を作ったりしています。こうした保育についてどう思いますか？	35 85.4%	6 14.6%				41 100.0%		
8	生活習慣の指導	先生方は、子どもたちにやさしく声をかけ応答を楽しんだり、スキンシップを取ったりしながら、園で安心して過ごせるよう心がけています。こうした保育についてどう思いますか？	35 85.4%	6 14.6%				41 100.0%		
9	信頼性・連携	先生方は、連絡帳だけでなく、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話をし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。先生方は、気軽に相談できる体制を取っていると思いますか？	23 56.1%	14 34.1%	4 9.8%			37 90.2%	4 9.8%	
10	園の公開	先生方は、保育自由参観や保育自由参加、園の行事、保護者面談などを実施したり、ホームページやお便り等で子どもの様子をお伝えしたりしています。先生方は、園の「公開」や「見える化」に取り組んでいると思いますか？	24 58.5%	13 31.7%	4 9.8%			37 90.2%	4 9.8%	
11	身近な人々との かわり	先生方は、身近なところに散歩に出かけたり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊ぶ機会を多く持ったりしています。先生方は、高校・短大や地域と連携し、子どもたちによりよい教育・保育を提供するようにしていると思いますか？	29 70.7%	11 26.8%	1 2.4%			40 97.6%	1 2.4%	
12	体力の向上	先生方は、気候がよい時には、できるだけ外気に触れたり、戸外に遊びに行ったりする機会を多く取り入れています。こうした保育についてどう思いますか？	37 90.2%	4 9.8%				41 100.0%		
13	食育の推進	先生方は、授乳や給食について家庭と連携を取り、一人一人の生活リズムに合わせ、ゆったりと関わりながら飲食させるように工夫していると思いますか？	27 65.9%	10 24.4%	2 4.9%		2 4.9%	37 90.2%	2 4.9%	2 4.9%

5 保護者の園評価アンケート集計【3・4・5歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-2

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①とてもよい そう思う	②よい・やや そう思う	③あまりよくない・ あまりそう 思わない	④よくない そう思わない	⑤分から ない	よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育 の目標	先生方は、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や認定こども園教育・保育要領に示されている内容に基づき、子どもの主体性を大切にしながら、遊びを通して教育・保育の実践に取り組んでいます。こうした教育・保育についてどう思いますか？	113	57	2		1	170	2	1
			65.3%	32.9%	1.2%		0.6%	98.3%	1.2%	0.6%
2	意欲	先生方は、子どもたち一人一人に寄り添い、共に遊びながら教育・保育を実践しています。また、進んで子どもたちにあいさつや声かけをしています。先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいると思いますか？	118	52	3			170	3	
			68.2%	30.1%	1.7%			98.3%	1.7%	
3	研究 研修	先生方は、一人一人が年に1回以上の研究保育を実践したり、月1回の園内での勉強会や園外での研修会などに参加したりして研修を行っています。こうした取り組みについてどう思いますか？	112	53			8	165		8
			64.7%	30.6%			4.6%	95.4%		4.6%
4	組織力	先生方は、毎週学年の話し合いを行い、行事や保育の実践、情報等について共有をしています。また、チームワークや組織での対応を大切にしています。先生方は、子どもの保育や指導、支援などについて、職員同士で連携したり協力したりしていると思いますか？	91	66	1	3	12	157	4	12
			52.6%	38.2%	0.6%	1.7%	6.9%	90.8%	2.3%	6.9%
5	安全 環境	先生方は、毎月施設や遊具の安全点検を行ったり、保育室などの清掃や整理整頓を行ったりしています。先生方は子どもたちが安心して、安全に園で過ごせるように努力していると思いますか？	100	57	8		8	157	8	8
			57.8%	32.9%	4.6%		4.6%	90.8%	4.6%	4.6%
6	指導の 工夫・改善	先生方は、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、遊びの環境を整えたり、子どもの思いを活かす指導を工夫しています。先生方は、子ども中心の教育・保育の実践に努めていると思いますか？	121	50			2	171		2
			69.9%	28.9%			1.2%	98.8%		1.2%
7	道徳性の 指導	先生方は、子ども同士のトラブルや人を傷つけるような言動があった場合、子どもの意見や思いを聴きながら、子ども自身が納得した解決に努めています。先生方は、規範（ルール）や自分も友達も大切にするなど、道徳性の芽生えを育てていると思いますか？	97	62	5	1	8	159	6	8
			56.1%	35.8%	2.9%	0.6%	4.6%	91.9%	3.5%	4.6%
8	生活習慣の 指導	先生方は、あいさつや正しい言葉遣いを自ら励行し、子どもの手本となるようにしています。先生方は、基本的な生活習慣が身に付くようにかかわっていると思いますか？	99	72	1		1	171	1	1
			57.2%	41.6%	0.6%		0.6%	98.8%	0.6%	0.6%
9	信頼性 ・連携	先生方は、連絡帳だけでなく、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話し、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。先生方は、気軽に相談できる体制を取っていると思いますか？	112	49	9	3		161	12	
			64.7%	28.3%	5.2%	1.7%		93.1%	6.9%	
10	園の公開	先生方は、保育自由参観や保育自由参加や園の行事、保護者面談などを実施したり、ホームページやお便り等で子どもの様子をお伝えしたりしています。先生方は、園の「公開や見える化」に取り組んでいると思いますか？	102	62	4	2	3	164	6	3
			59.0%	35.8%	2.3%	1.2%	1.7%	94.8%	3.5%	1.7%
11	身近な人々 との かわり	先生方は、地域の公園や公共の施設に出かける園外保育を工夫したり、高校の保育部の生徒や短大の学生と子どもたちが遊ぶ機会を多く持ったりしています。先生方は、高校・短大や地域と連携し、子どもたちによりよい教育・保育を提供するようにしていると思いますか？	121	51			1	172		1
			69.9%	29.5%			0.6%	99.4%		0.6%
12	体力の向上	先生方は、園庭やホールなどで子どもたちと一緒に走り回ったり、戸外遊びを進めたりしています。先生方は、子どもたちが体を十分に動かして遊ぶ体験を多く取り入れ、体力の向上に努めていると思いますか？	114	53	3		3	167	3	3
			65.9%	30.6%	1.7%		1.7%	96.5%	1.7%	1.7%
13	食育の 推進	先生方は、ジャガイモやサツマイモ、タマネギなどの収穫体験を行ったり、子どもたちが給食や食べものに興味・関心を持つよう指導や工夫をしています。先生方は「食」に対する指導の大切さを考えていると思いますか？	101	61	5		6	162	5	6
			58.4%	35.3%	2.9%		3.5%	93.6%	2.9%	3.5%
14	幼小の 接続	年長組は近隣の小学校（本庄小・日新小）への訪問や入学前のふれあいの活動等に参加しています。先生方も、市内の小学校を訪問し情報交換や連携を行っています。先生方は、小学校生活に慣れや期待を持つよう指導していると思いますか？（年長のみ回答）	24	22	7		5	46	7	5
			41.4%	37.9%	12.1%		8.6%	79.3%	12.1%	8.6%

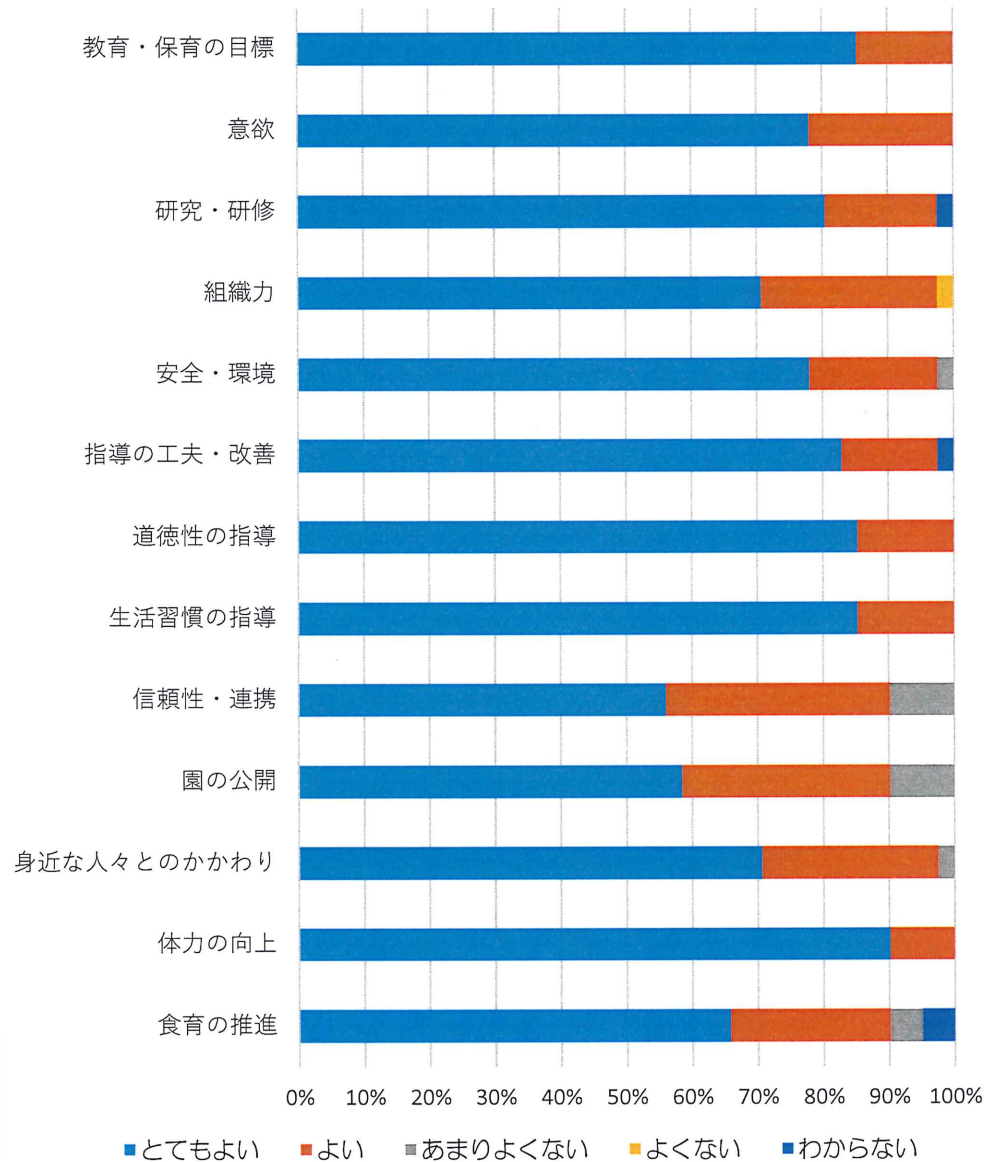
6 教職員の自己評価集計

(上段：人数・下段：割合)

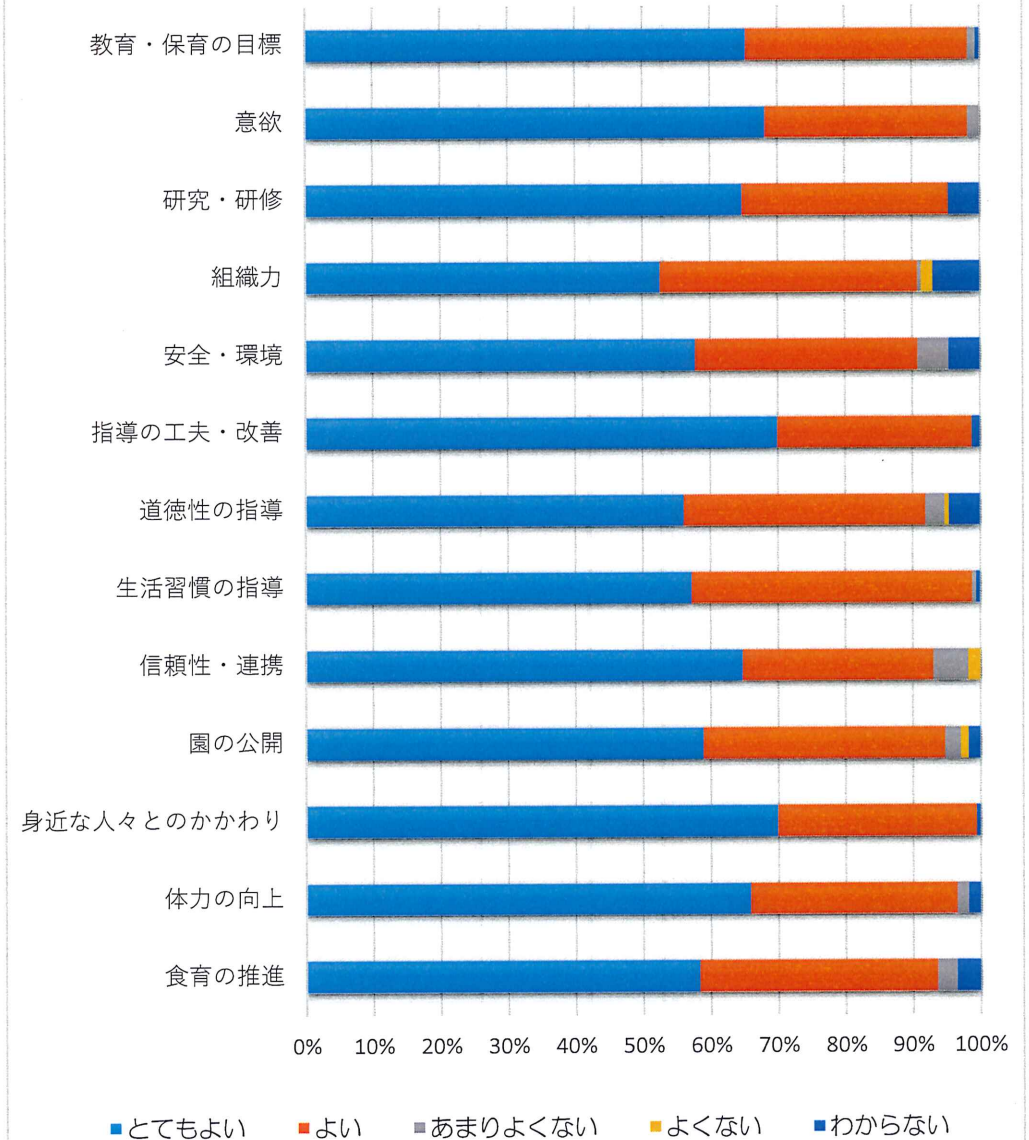
資料 2

NO	評価の観点	評価内容	評価の段階				評価の段階	
			①よく 努力した	②努力した	③あまり努力 できなかった	④努力 できなかった	①+②	③+④
1	教育・保育 の目標	「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や本園の目標に基づき、子どもの主体性を大切にし、遊びを通した教育・保育を実践するように努めている。	14 56.0%	11 44.0%			25 100.0%	
2	意 欲	一人一人の子どもに温かく接し、意欲的に教育・保育活動に取り組むように努めている。	18 72.0%	7 28.0%			25 100.0%	
3	研究・研修	園内・園外での研究や研修に積極的に参加し、保育者としての資質向上に努めている。	5 20.0%	18 72.0%	2 8.0%		23 92.0%	2 8.0%
4	組織力	教育・保育や学年学級経営、学年の課題等について、学年や先生方で話し合ったり、協力したりしている。	17 68.0%	7 28.0%	1 4.0%		24 96.0%	1 4.0%
5	安全・環境	施設・設備の安全について定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室などの清掃、整理・整頓などに配慮している。	5 20.0%	20 80.0%			25 100.0%	
6	指導の 工夫・改善	子どもたちが主体的な活動や豊かな体験ができるように、遊びの環境や指導の工夫・改善に努めている。	11 44.0%	13 52.0%	1 4.0%		24 96.0%	1 4.0%
7	道徳性の指導	してよいこと、悪いことなどの規範や自分も友達も大切にするなど、道徳性や規範意識を育てるように努めている。	12 48.0%	13 52.0%			25 100.0%	
8	生活習慣指導	挨拶をする、きまりを守るなど基本的な生活習慣が身に付くように自ら率先して手本を見せたり、指導したりするように努めている。	14 56.0%	11 44.0%			25 100.0%	
9	信頼性・連携	子どもたちが安心して自分らしさを発揮したり、保護者も気軽に相談したりできるような、信頼関係を作るように努めている。	16 64.0%	9 36.0%			25 100.0%	
10	園の公開	保護者参加行事や保育参観、保育参加、ホームページやお便り等を通して、園を公開するように努めている。	8 32.0%	15 60.0%	2 8.0%		23 92.0%	2 8.0%
11	身近な人々との かわり	短大や高校と連携したり、地域の公園に出かける園外保育を工夫したりして、子どもたちによりよい教育・保育を提供するように努めている。	4 16.0%	18 72.0%	3 12.0%		22 88.0%	3 12.0%
12	体力の向上	屋外の遊びを重視し、体を十分に動かして遊ぶ体験を意図的、計画的に取り入れるように努めている。	16 64.0%	9 36.0%			25 100.0%	
13	食育の推進	子どもたちが望ましい食習慣を身に付けるように、給食指導等を行ったり、家庭と連携を図ったりするように努めている。	13 52.0%	12 48.0%			25 100.0%	
14	幼小の接続	年長では、小学校生活に期待や憧れを持たせる機会を設けたり、「10の姿」を意識した教育・保育に取り組んだりしている。(年長児担当・主幹)	4 57.1%	3 42.9%			7 100.0%	

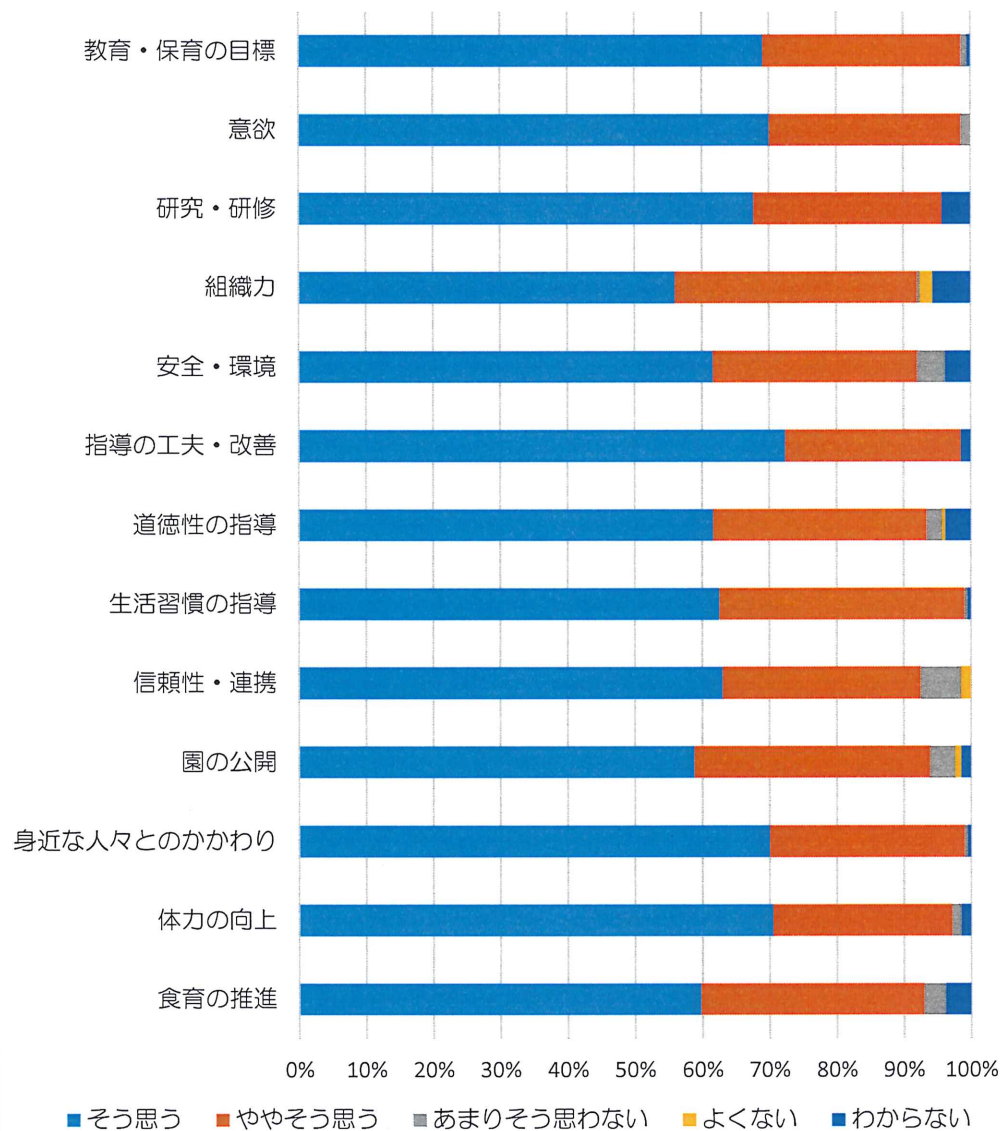
0・1・2歳児保護者 園評価集計グラフ



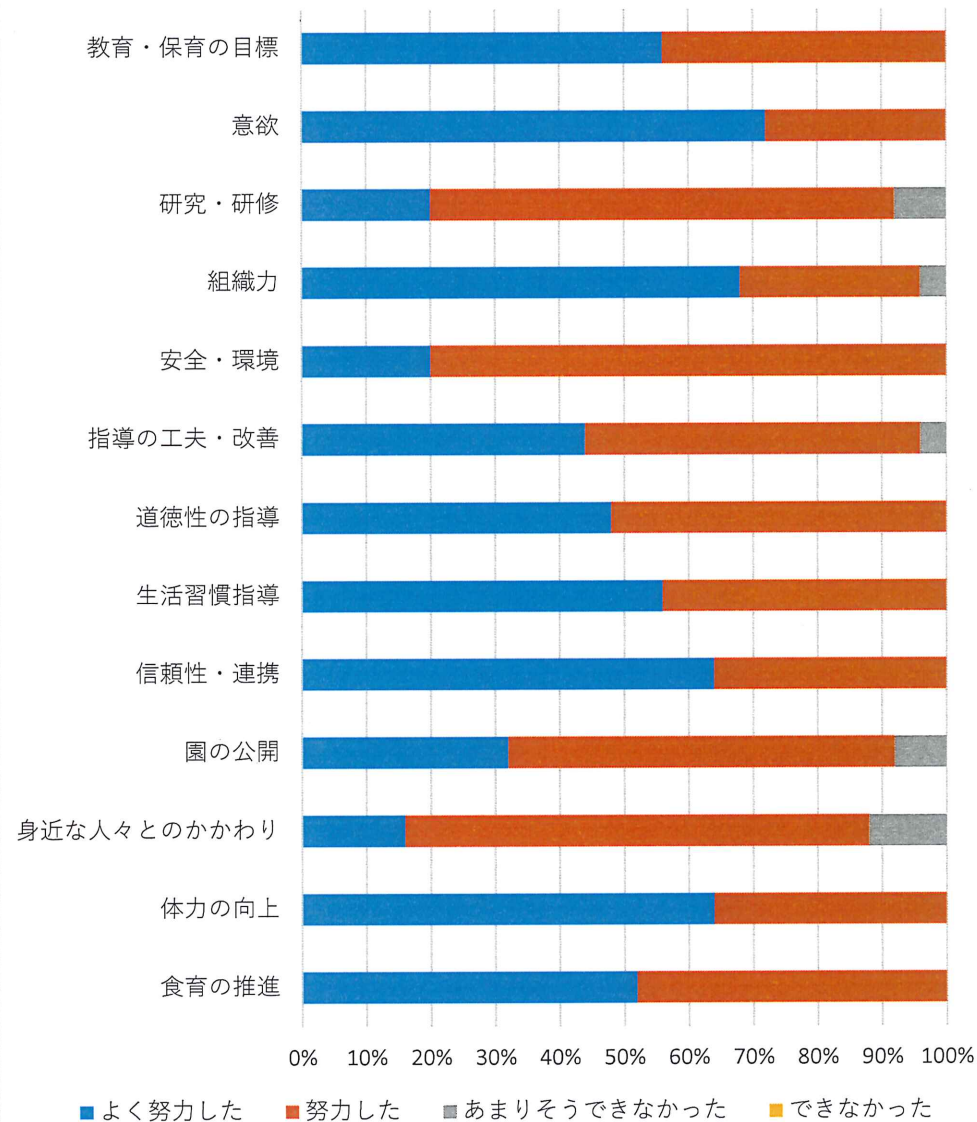
3・4・5歳児保護者 園評価集計グラフ



保護者園評価集計グラフ



教職員自己評価集計グラフ



7 園評価及び自己評価の総合評定

NO	評価項目 (観点)	保護者の園評価			職員の自己評価		評 定			評価の気づき	関係者評価委員判定	
		よい そう思う	よくない そう思わない	分から ない	努力した	努力でき なかった	保護者	職員	総合			
1	教育・保育 の目標	211	2	1	25	0	A	A	A	保護者、職員とも高い評価である。職員は「そう思う」が100%であり、子ども中心の教育・保育の実践を心がけているようである。	A	
		98.6%	0.9%	0.5%	100.0%	0.0%						
2	意 欲	211	3	0	25	0	A	A	A	保護者・職員ともに高い評価である。先生方の教育・保育の姿勢や取り組みが評価されたと思う。職員も全員が意欲を持って取り組んでいる。今後もその姿勢で臨んで欲しい。	A	
		98.6%	1.4%	0.0%	100.0%	0.0%						
3	研究・研修	205	0	9	23	2	A	A	A	保護者の方の「よい」の割合が昨年度より6%上昇し95%を超えた。研修についてお知らせしたり、ご協力を願ったりしてきた成果が出てきた。ただ、研修の実践が見えにくいところもあり、今後もできるだけ多く公表していきたい。	A	
		95.8%	0.0%	4.2%	92.0%	8.0%						
4	組織力	197	5	12	24	1	A	A	A	保護者には見えにくい調査項目かもしれない。「組織力」を職員の目標として設定し、よりよい組織で教育・保育に取り組むように励んでいる。職員の1名は、自身が少し努力不足だったと謙虚に評価したものである。	A	
		92.1%	2.3%	5.6%	96.0%	4.0%						
5	安全・環境	197	9	8	25	0	A	A	A	安全点検を奇数月に定期的に行っている。また、環境の整備が子どもたちの安心・安全やよりよい教育・保育につながるということを、職員が意識し、環境構成等に努力しているようである。	A	
		92.1%	4.2%	3.7%	100.0%	0.0%						
6	指導の工夫 ・改善	211	0	3	24	1	A	A	A	園内外での研修の成果を生かしながら、日々の教育・保育に取り組んでいる。その様子を多くの保護者の方に評価していただいたと思う。職員1名は新規採用者で、自己の反省として謙虚に評価したと思われる。	A	
		98.6%	0.0%	1.4%	96.0%	4.0%						
7	道徳性 の指導	200	6	8	25	0	A	A	A	保護者と職員は若干評価に差はあるものの、両者ともに高い評価である。職員は道徳性を育てようと、教育・保育の場で努力しているようである。	A	この項目と8生活習慣の指導項目を一元化できないか
		93.5%	2.8%	3.7%	100.0%	0.0%						
8	生活習慣 の指導	212	1	1	25	0	A	A	A	保護者・職員ともに高い評価である。生活習慣を身に付けさせることは、幼児期において大切なことであると思う。今後も保護者と連携を取りながら進めていきたい。	A	
		99.1%	0.5%	0.5%	100.0%	0.0%						
9	信頼性 ・連携	198	16	0	25	0	A	A	A	職員は保護者との連携や信頼関係を作るために努力している。ただ、保護者との評価に若干の差異がある。できるだけ保護者との直接会話を重視しながら信頼関係等を構築していきたい。	A	
		92.5%	7.5%	0.0%	100.0%	0.0%						
10	園の公開	201	10	3	23	2	A	A	A	新しいホームページに改良し、Instagramにより、日々の保育の様子等を掲示した。園だよりや学年だよりなどで定期的に園を公開するように努めた。また、今年度も大きな園行事がない月に、保育参観と保育参加を実施した。	A	
		93.9%	4.7%	1.4%	92.0%	8.0%						
11	身近な 人々との かわわり	212	1	1	22	3	A	A	A	保護者の「よい」の評価が昨年度比4.6%上昇した。職員も短大や近隣の公園、公共施設等へ園外保育に出かけ、様々な体験をさせるように工夫していた。	A	
		99.1%	0.5%	0.5%	88.0%	12.0%						
12	体力の向上	208	3	3	25	0	A	A	A	子どもたちは戸外で、元気に十分過ぎるくらいに身体を動かして遊んでいると思う。職員も一緒によく走り回り、戸外での遊びを推奨している。	A	
		97.2%	1.4%	1.4%	100.0%	0.0%						
13	食育の推進	199	7	8	25	0	A	A	A	職員と保護者では若干の差が見られる。見えにくいところがあり、評価しにくいと思うが、Instagramで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進に見える化するように努力している。	A	インスタの活用は保護者にとってわかりやすい。更なる活用を期待したい。
		93.0%	3.3%	3.7%	100.0%	0.0%						

8. 総合評価

①	アンケートの回収は214/254で回収率84.3%であった。昨年度より8.5%向上し、目標値である80%を越えることができた。回収率の内訳は、3歳未満児が41/52で78.8%、3歳以上児が173/202で85.6%であった。3歳以上児の学年は、どの学年も80%を越える回収率であり、多くの保護者の方にご協力をいただいた。評価の観点については、各項目具体的な取り組みを示した上で評価をしていただくように、今年度工夫をしてみた。
②	保護者の評価は13項目すべてにおいて「よい・そう思う」が90%以上の高い評価をいただいた。特に、「研究・研修」、「組織力」、「指導の工夫・改善」、「生活習慣の指導」「身近なひとびとのかかわり」の5項目においては、昨年度よりも4%もポイントが上昇した。これは、具体的な取り組みを示した上で評価をしていただくように工夫したために、保護者の方が評価をしやすくなったということも考えられる。
③	職員には自身のことを振り返る自己評価を実施した。13項目中12項目で「努力した」の評価が90%を超え、特に、「研究・研修」、「園の公開」、「身近なひとびとのかかわり」、の3項目を除いた10項目で「そう思う」の評価が95%以上であり、職員の教育・保育に対する前向きな姿勢を見ることができた。常勤の職員25名を対象にしたアンケートであり、調査母数が少ない分割合も変動しやすいが、全項目において「A」評価だった。
④	保護者の評価が90%を超えているものの「安全・環境」、「道徳性の指導」、「信頼性・連携」、「食育の推進」の4項目は、職員100%の評価に対し、保護者の評価とは若干の差異が見られた。また、それに加え、「研究・研修」、「組織力」の6項目は、「分からない」の評価が他の項目に比べ若干ではあるが高かった。
⑤	保護者からは13項目すべてで「A」評価をいただいた。また、全項目で「とてもそう思う」が55%以上という高い評価であった。ただ、高い評価であっても、「安全・環境」、「信頼性・連携」、「園の公開」、「食育の推進」などの項目においては、「よくない・そう思わない」や「分からない」の評価もあり、真摯に受け止めていきたい。

9. 次年度への課題・改善策

①	研究・研修	○ 昨年度より「そう思う」の評価が6.2%上昇した項目である。保護者の方には、園だよりやホームページ等で研修の様子を知らせたり、研修会実施へのご協力を要請したりして、見える化を図った。また、評価内容に具体的な取り組みを記述して、評価を受けた成果であると思われる。ただ、保護者にまだ十分に伝わっていないところがあり、「分からない」の評価が他の評価項目より若干高くなった。保護者への「見える化」などをさらに工夫していきたい。 ○ 子どもたちによりよい教育・保育を提供するためには、保育者の資質や指導力の向上は欠かせない。職員もそうした意識が高まりつつあり、園内外の研修に励んでいる。今年度も県教委の委嘱で新採のための公開保育を実践したり、佐賀市内の園のみならず福岡の園からの訪問を受けた。次年度も、園内研修や園外研修での研鑽を積ませたい。子ども中心の教育・保育のあり方を学ぶために、全職員揃っての定期的な勉強会を続けたり、研究保育かドキュメンテーション研修のいずれかを、各保育教諭が年1回は実践したりするようにしていきたい。また、先進的な園の視察や全国・九州の研究大会等にできるだけ参加させ、視野を広げる研修とさせたい。
②	組織力	昨年度より「そう思う」の評価が4.7%向上した項目である。職員もチームとしての意識を高め、協力し合う姿が多く見られるようになってきた。また、学年担任全員で行う学年会を毎週実施したり、主幹・チーフ会を頻繁に行ったりして、意思疎通や共通理解を得るようにしている。 ただ、保護者にはなかなか見えにくいところがあることも否めなく、「分からない」の評価が他の評価項目より若干高くなった。今後、質問内容等を具体的に示すなどの工夫を続けながら、組織力の「見える化」をどうしたらいいのか検討したい。
③	道徳性の指導	昨年度より「そう思う」の評価が1.7%向上しているが、保護者の「分からない」の割合が他の評価項目より若干高くなっている。職員の自己評価は「そう思う」が100%であり、道徳性を育むための努力をしていることが伺えるが、保護者にはなかなか見えにくいところがあることも否めない。 職員の具体的な取り組みや関わりを、ホームページや園からのたよりなどで公表したり、直接保護者の方にお知らせしたりするなどの工夫を行ってみたい。
④	信頼性連携	昨年度より「そう思う」の評価が2.9%向上したが、16/214(7.5%)の保護者が「そう思わない」と評価した。これに対し職員の自己評価は、「そう思う」が100%であり、評価に差異が見られた。できるだけ保護者と直接会話をすることで連携を取るようにし、電話での連絡も頻繁に行っているが、若干名の保護者の方にはそうでなかったのかもしれない。ホームページをリニューアルし、Instagramでの情報公開にも努めるようにしたが、信頼関係を築くことは、子どもを教育・保育する上で重要な要素であるので、保護者との連絡や連携、情報の共有等の回り方を工夫していきたい。

⑤	食育の推進	昨年度より「よい・そう思う」の評定が3.4%向上し、「よくない・そう思わない」や「分からない」の評定が3.4%減少した。職員は給食指導や米、サツマイモ、じゃがいも、ピーマン等の栽培活動を通して、毎月の教育・保育の目標に食育指導の目標を設定して、指導に取り組んでいる。 この項目も見えづらいところがあるので、給食指導の実際や給食の献立等についてInstagramで写真公開を行い、「見える化」を工夫していきたい。
⑥	保護者の園評価	○ 次年度も回答率80%以上を目指しアンケートの周知を早くから行うなど工夫したい。また、できるだけ具体的な内容を盛り込んだ評価内容となるように改善・工夫をしていきたい。 ○ 今年度はすべての評価内容において、「よい・そう思う」の評価が90%を越える高い評価をいただいた。また、どの項目においても「よい・そう思う」の評価の割合が向上した。園にとって大変ありがたく、職員のモチベーションを大きく向上させるものであった。今後も、評定の結果を励みとして、保護者のご期待を裏切らないように、子どもを中心にした教育・保育を実践していきたい。
⑦	職員の自己評価	保護者の方から高い評価がいただけるとともに、自身の自己評価に自信を持って「A」評定ができるよう、一人一人が、子ども中心の教育・保育に自覚と自信を持って日々実践して欲しい。そのためにも、保育教諭としての資質の向上に積極的に取り組んで欲しい。 また、「チームふたば」の意識を持って組織力を高め、全職員が丸となり、子どもの健やかな育ちに関わって欲しい。

10.「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

- 昨年度の評価課題や改善策を踏まえた園の経営・運営の成果が見て取れる。評価が構造化され、PDCAサイクルが見える評価活動と実践の一体化が感じ取れる。（地域代表）
○教職員の100%に近い評価は素晴らしい。研修や研究を重ね、組織での磨き合いが力となり、自信を持って教育・保育にあたっている姿勢に、保護者も安心して子どもを預け、信頼を深めていると思われる。（地域代表）
○日々の気づきを相互に伝えることができる今の雰囲気大切に、さらにチーム力・組織力を強化させて欲しい。（学識経験者）
○保護者との日常的な意思疎通やふれあい、ホームページや園だより等での情報提供をそれぞれ振り返り、信頼と連携を一層高めて欲しい。（学識経験者）
○評価の観点の検討や見直しを行い、計画と評価の整合性をより図って欲しい。（学識経験者）
○教育・保育の質については、常に問うていく必要がある。園の規模が大きいだけに課題も多くなると思う。しかし、子どもにとってマイナスになることは避けていって欲しい。大人の価値観に振り回されないようにしたい。（学識経験者）
○保護者の回答で「分からない」の項目があり、先生方のせわかつの活動が保護者まで伝わっていないのが残念に感じた。（保護者代表）
○インスタで園の普段の様子をのぞけることは、保護者にとって安心材料だと思う。もっとたくさん様子を発信して欲しい。（保護者代表）
○それぞれの評価の観点に具体的な取り組みを示してあり、保護者にとっては評価をすると同時に、園の取り組みについてより知ることのできる場となり、評価しやすかった。（保護者代表）
○評価の低い意見の多かった評価項目9「信頼性・連携」について、子どもの様子を積極的に話す先生とそうでない先生がいると聞いたことがあり、それも一因かと思った。（保護者代表）

11.今回の「園の自己評価」全般を通しての感想や意見・課題など

- 細やかな保護者との連絡・連携、情報の共有に努めている先生方に敬服します。ただ、様々な考えをお持ちの保護者もおられるので、振り回されず、子どもを中心にすえた、ぶれない教育・保育をこれからも進めてください。先生方が疲弊されないことを願っています。（地域代表）
○地域住民との関わりをこれからももっともっと深めていただきたい。地域も待ってます（地域代表）
○保育者としての質の向上を図るために、園内外の研究や研修を深め、日々の教育・保育に還元していこうとする姿勢が見えます。今後の継続と更なる充実を期待しています。（学識経験者）
○新教育・保育要領に沿った教育目標や方針と、それに合った評価の道すじが通っていると思います。できるなら、「分からない」の評価がなくなるように対処を考えてください。（学識経験者）
○今回はじめて評価委員になり、アンケートにしっかり目をおした。改めて、先生方が教育・保育の内容をしっかり考え、子どもたちと向き合い、導いてくださっていることに気づかされました。園活動の「見える化」をもっとしていただけたらよいと思います。（保護者代表）
○全体的に高評価で、先生方の子どもたちに対する真摯な姿勢や園の方針が、保護者に伝わっていた結果ではないかと思う。先生方の質の高さを実感しています。（保護者代表）

12.関係者評価委員会による評価を終えて

- 関係者評価委員の方々からは、自己評価のすべての項目で概ね妥当の「A」評価をいただいた。保護者及び関係者委員の方から高い評価をいただいたことは、職員にとっても園にとっても大変ありがたいことである。また、今後の励みになる。ただ、「そう思わない」という評価には真摯に向き合い、高い評価をもらえるように取り組んでいきたい。
- 評価アンケートの回収率が80%を超えることができた。長年、目標値として掲げてきたがようやく念願が叶った。今回、評価内容に具体的な先生方の取り組みや指導等を入れてみた。評価しやすかったという保護者の方の意見があり、それも回収率を上げた一因だったと思われる。
- 「分からない」の評価をされる方が数%ではあるがあった。「分からない」の理由を探ると共に、評価の内容や教育・保育の「見える化」をさらに工夫する必要がある。
- 子どもの育ちを親に伝えることはこれから重要になる。今後も保育参観と保育参加を計画的に実施し、園の「見える化」を図りたい。
- 「総合評価」や「次年度の課題、改善策」に記載しているとおり、関係者委員の皆様からたくさんのご意見をいただいた。ご意見は更なる教育・保育の糧になるよう、また改善すべきご意見については、今後の課題として、職員一丸となり対応・改善に努力していきたい。
- 職員研修は教育・保育の質の向上のために続けていきたい。また、公開保育等も継続し、県内で「子ども中心の教育・保育」を先導できる園として信頼されるようにしたい。